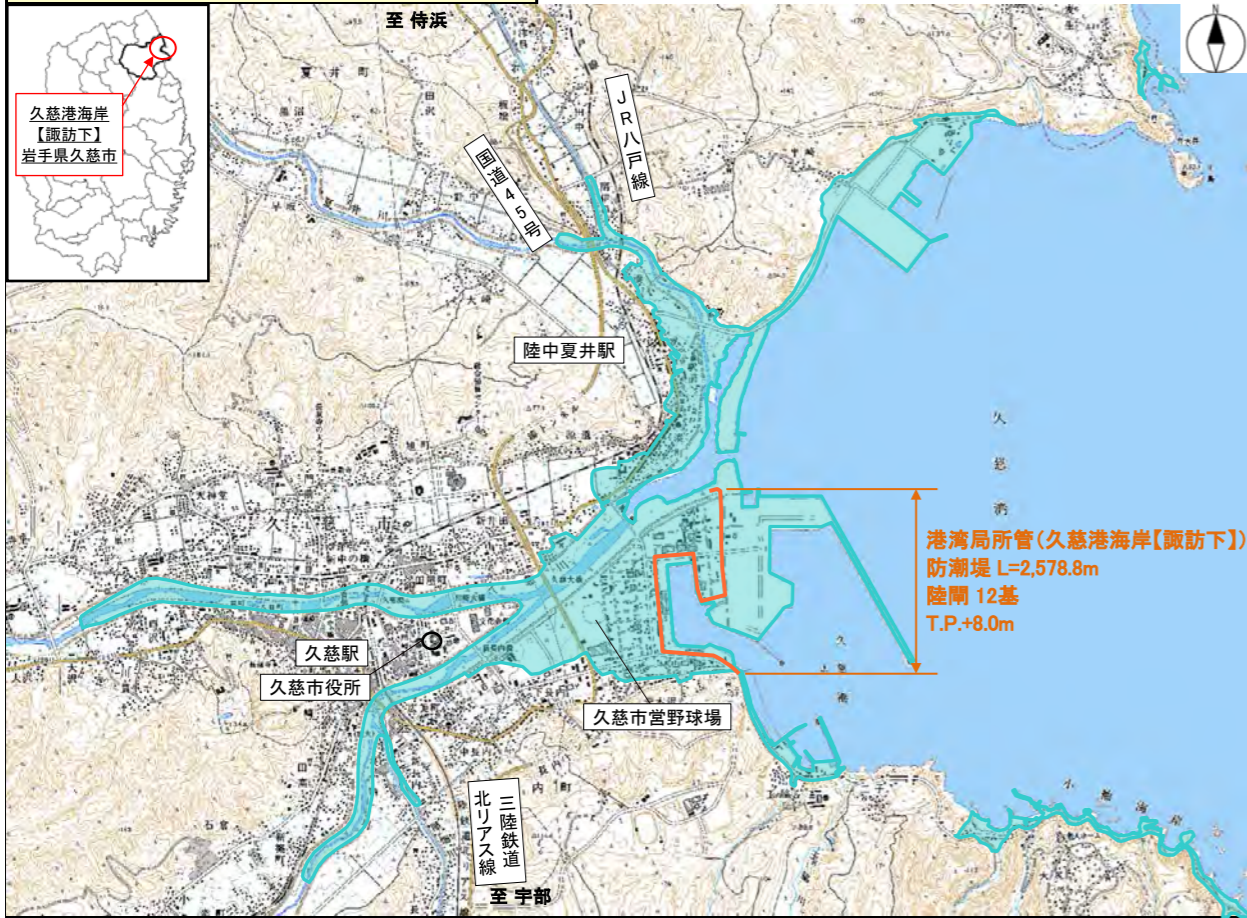


【位置図】（被災前施設状況）



【被災前後比較航空写真】



被災前状況 H22.3.24 撮影

被災後状況 H23.3.28 撮影

【計画堤防高の設定】

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
  - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
  - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
  - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、久慈港海岸【諏訪下】では新計画堤防高をT.P.+8.0mと設定し、既設防潮堤を嵩上げ復旧する方針。

【被災状況写真】

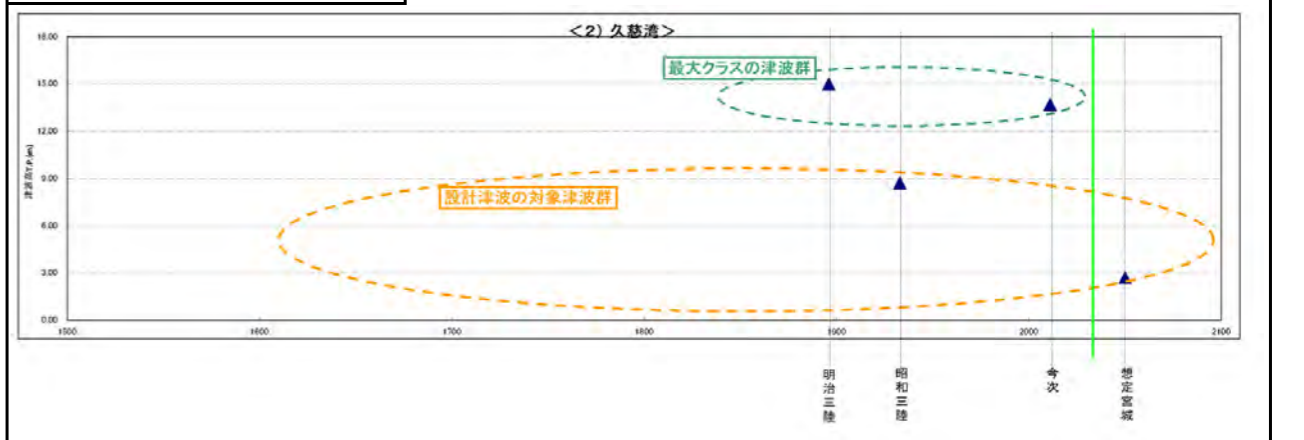


その他の門扉は大きな損傷は見られないが、南4号門扉は「走行不能」となっており、設備関係の損傷が見られる。

陸間は、所々被災を受けている。特に、東2号門扉は全壊。

防潮堤そのものの被災はない。

【設計対象津波の選定】



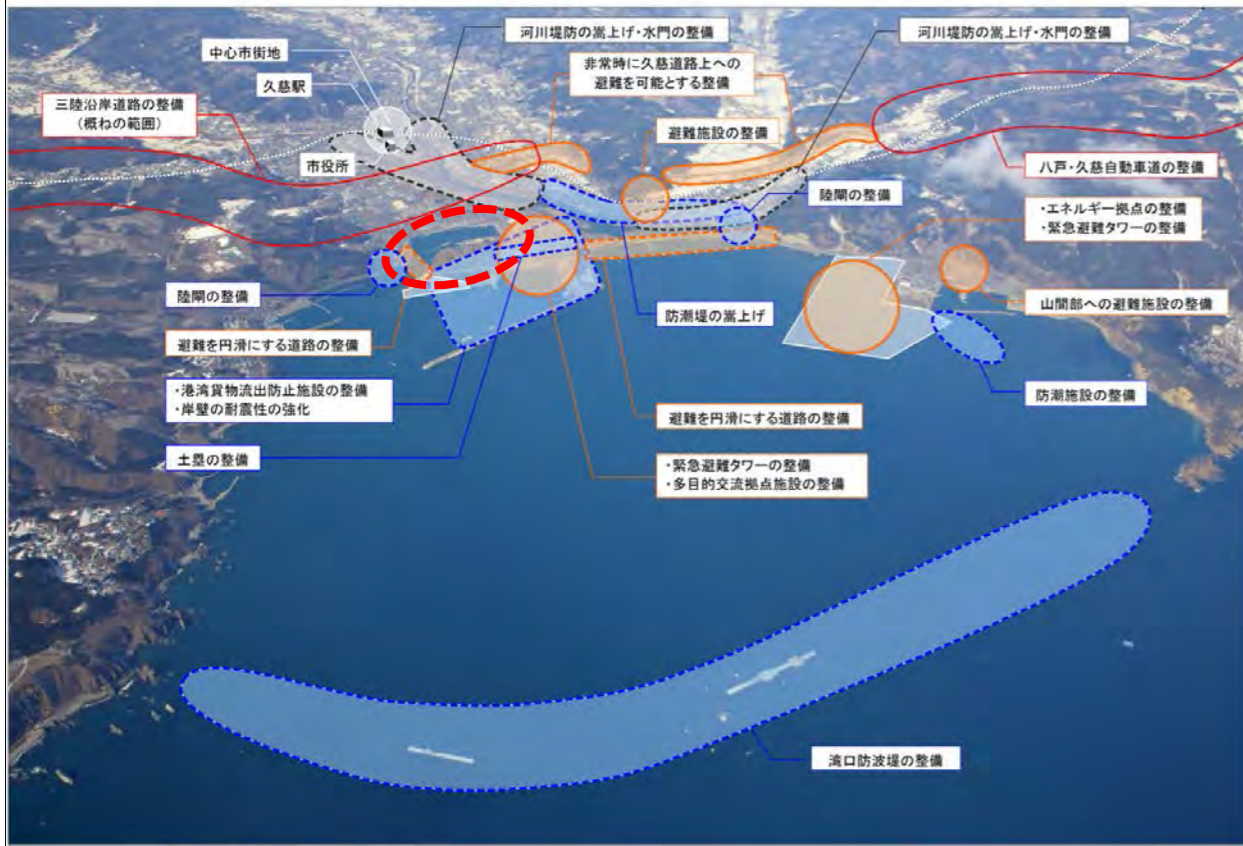
【計画堤防高の設定】

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
久慈湾	13.7	昭和三陸地震(東日本大震災)	5.4	6.4	被災前計画高にて決定	8.0	7.3~8.0

単位:m(T.P.)

# 久慈市復興まちづくり計画 (久慈港周辺)

久慈港周辺における防災関連施設等の将来像



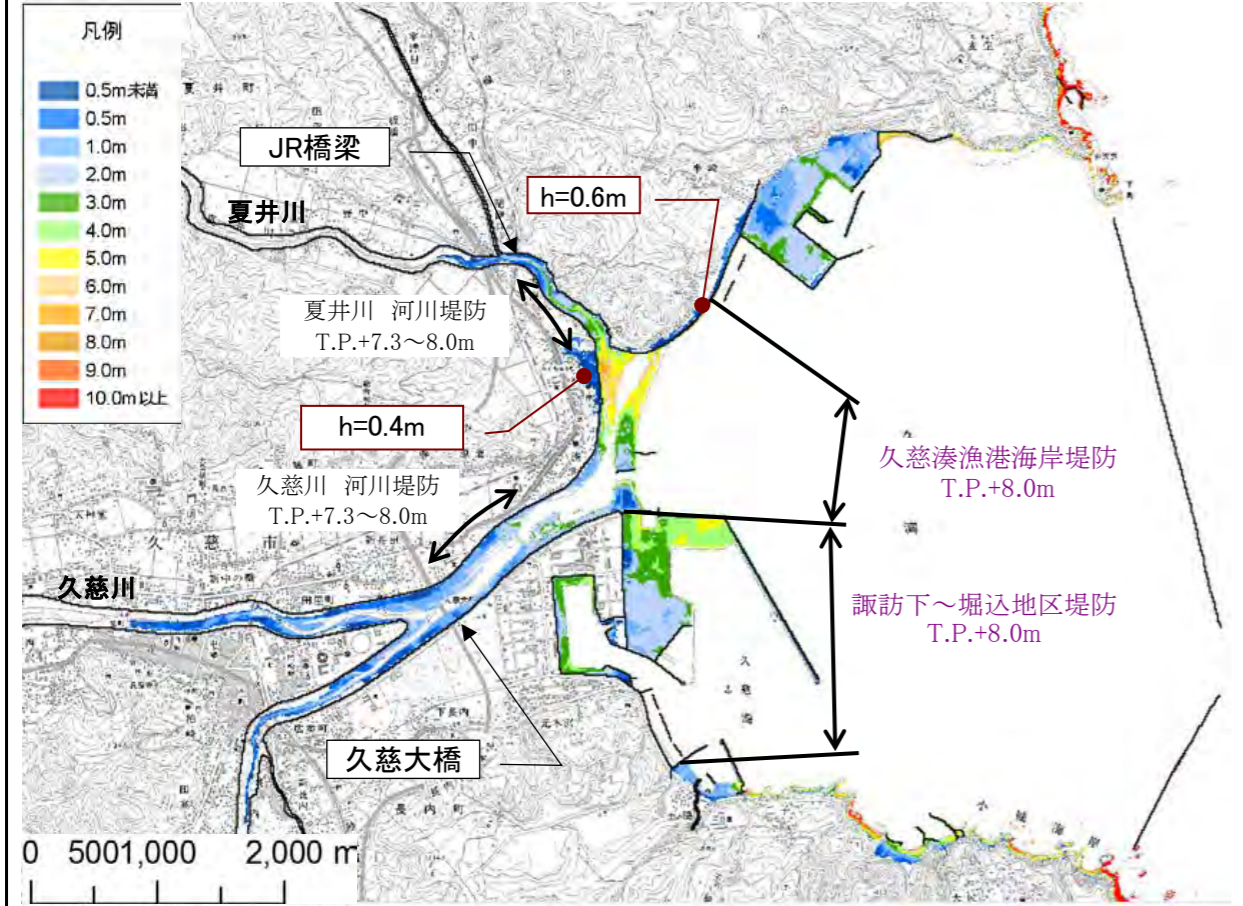
久慈市ホームページ『久慈市復興計画.pdf』より

# 【復旧方針平面図】



# 浸水想定範囲図

津波モデル : 明治三陸地震津波  
 施設条件 : 湾口防波堤完成 (計画)  
 施設高 : 昭和三陸地震津波における必要施設高 施設高 T.P.+8.0m ※浸水深は地区平均値を表示



# 防潮堤断面図

